

平成 27 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立豊新小学校 学校協議会

1 総括についての評価

本年度の学校の自己評価結果は概ね妥当である。

新しい研究主題に取り組むことも大事だが、今までやってきたことを継承しつつ新しいことに取り組んでいくことが、指導力アップにつながる。また研修への積極的に参加して、指導力のアップに努めてほしい。

ネットの安全な利用とルールは、家庭が中心になると思うが、児童に対して学校からも指導をしてほしい。

体育の授業はもとより、休み時間や放課後での運動量の確保と地域のクラブ活動への参加も呼び掛けていかなければならない。

授業参観を増やしたり、学校公開日を設定したりして、地域や保護者が学校に来る機会を増やし、学校の取り組み様子をわかりやすくすれば、連携や協力もしやすくなるのではないかと。地域は学校に全面的に協力するので、相談してください。

2 年度目標ごとの評価

【学力の向上】

新年度は新たに研究主題を決めることになるが、昨年度から本年度にかけて取り組んだ言語活動の充実を図る授業づくりもやめてしまうのではなく継続して取り組んでほしい。また、ICTを活用した指導も入ってくるが、ICTありきではなく、有効な指導手段として活用できるように活指導方法を研究してほしい。外国語活動も大阪市の指導方針にそってできるだけ下の学年から指導を始めるといいのではないかと。

【道徳心・社会性の育成】

学校のルールを守る意識は高まってきているようだが、一部の学年では守ることができていないようである。家庭的な問題もあると思うが、地域も協力しながら指導をしていければいいのではないかと。

地域と協力して行った「防犯教室」は、児童、地域共に「子ども 110 番の家」の確認ができて有意義な取り組みだった。ただ授業の中で、校区内全てを網羅できたわけではないので、日頃から登下校の際に確認するよう促していけるといいと思う。

【健康・体力の保持増進】

体力増進のためには、運動量の確保が大切である。授業の中での運動量の確保には限界があるのではないかと。休み時間や放課後に運動や体を動かす遊びができる環境を整えることが大切である。また、学校が休みの土、日は地域のスポーツ系の活動に入るように働きかけができればいいと思う。

寝る時間が決まっていないことは、スマホやインターネットをして過ごす時間が多く、その影響を受けていることが考えられるのではないかと。就寝時間などは家庭の問題であり、指導することは難しいかもしれないが、ネット社会を生きる子ども達のために、ネット利用の方法からの指導を望む。

大きなケガがあったが、安全確認の方法を見直し、チェック漏れがないようにしてくれたことは評価する。予算面ですぐに修理できないこともあると思うが、優先順位をしっかりと精査して安全確保に努めてほしい。

【特別支援教育の充実】

特別支援教育の仕組みが変わるようだが、支援を必要とする児童、保護者のニーズに応えられるよう取り組みを進めてほしい。

3 今後の学校運営についての意見

今年も落ち着いた状況が続いたと思う。一部しんどい学年もあるようだが、地域は全面的に協力するので、学校、保護者、地域が一体となって子どもの健全育成に取り組んでいきたい。